

事業評価票（エビデンス・ベース（客観的指標）による評価（施設、インフラ、重要資産））

14	大島海洋国際高等学校実習船（教育庁）																																			
局計画	現況	<table><tr><td></td><td>総トン数(t)</td><td>長さ(m)</td><td>幅(m)</td><td>喫水(m)</td><td>資格</td><td>定員(人)</td><td>航海速力(ノット)</td></tr><tr><td>現船</td><td>500トン型</td><td>47.5</td><td>9.6</td><td>3.7</td><td>第三種漁船</td><td>45</td><td>12</td></tr><tr><td>代船</td><td>500トン型</td><td>50</td><td>9.8</td><td>3.7</td><td>第三種漁船</td><td>48</td><td>14</td></tr></table>								総トン数(t)	長さ(m)	幅(m)	喫水(m)	資格	定員(人)	航海速力(ノット)	現船	500トン型	47.5	9.6	3.7	第三種漁船	45	12	代船	500トン型	50	9.8	3.7	第三種漁船	48	14				
		総トン数(t)	長さ(m)	幅(m)	喫水(m)	資格	定員(人)	航海速力(ノット)																												
	現船	500トン型	47.5	9.6	3.7	第三種漁船	45	12																												
	代船	500トン型	50	9.8	3.7	第三種漁船	48	14																												
	概要	・大島海洋国際高等学校実習船「大島丸」は建造から20年近く経過しており、他県実習船と比較しても稼働年数が長期で、老朽化が進んでいる。同実習船は当該校における特色である航海実習を実施する上で欠かせないツールとなっており、代替船を建造する必要がある。 ・また、本校は海洋環境・資源の観測等の学習を通して国際社会に貢献できる海洋人材の育成に取り組んでいる。このため、他県と比較すると、漁撈実習より観測調査に重点をおいた実習を行っている。新たな建造船についても、海洋調査機能をより強化させる必要があり、そのための設備を充実化させる。 <他自治体における類似船との比較> <table><tr><td>区分</td><td>本件</td><td>A県高校</td><td>B県高校</td></tr><tr><td>船体規模</td><td>590 t</td><td>655 t</td><td>485 t</td></tr><tr><td>船体価格</td><td>約25.1億円</td><td>約23.7億円</td><td>約22.2億円</td></tr><tr><td>工事費・設計費</td><td>約 7.9億円</td><td>約 8.3億円</td><td>約 7.1億円</td></tr><tr><td>購入品費</td><td>約14.2億円</td><td>約12.6億円</td><td>約12.5億円</td></tr><tr><td>その他管理費等</td><td>約 3.0億円</td><td>約 2.8億円</td><td>約 2.6億円</td></tr><tr><td>単位当たり価格</td><td>425万円／t</td><td>362万円／t</td><td>457万円／t</td></tr></table>							区分	本件	A県高校	B県高校	船体規模	590 t	655 t	485 t	船体価格	約25.1億円	約23.7億円	約22.2億円	工事費・設計費	約 7.9億円	約 8.3億円	約 7.1億円	購入品費	約14.2億円	約12.6億円	約12.5億円	その他管理費等	約 3.0億円	約 2.8億円	約 2.6億円	単位当たり価格	425万円／t	362万円／t	457万円／t
	区分	本件	A県高校	B県高校																																
船体規模	590 t	655 t	485 t																																	
船体価格	約25.1億円	約23.7億円	約22.2億円																																	
工事費・設計費	約 7.9億円	約 8.3億円	約 7.1億円																																	
購入品費	約14.2億円	約12.6億円	約12.5億円																																	
その他管理費等	約 3.0億円	約 2.8億円	約 2.6億円																																	
単位当たり価格	425万円／t	362万円／t	457万円／t																																	
	30年度		31年度		32年度																															
	起工 建造		建造		供用開始																															
30年度見積	・平成29年度に委託している「都立大島海洋国際高等学校 実習船建造に伴う概略及び基本設計」の概略設計に基づき見積った。 ・30年度は、事業費25.1億円のうち、364,765千円（建造費360,000千円、工事監督費4,765千円）を計上している。																																			
	全体事業費	25 億円	30年度見積額	364,765 千円	29年度予算額	－ 千円																														
財務局評価	土地・床関係																																			
	建築技術関係					<建築コスト（参考）>																														
	30年度予算	・現在使用している実習船は建造から20年が経過し、他県実習船と比較しても稼働年数が長期で、老朽化が進んでいることから、更新の必要性は認められる。 ・加えて、経費についても他県との比較を実施した上で、一部経費を精査し、所要額を計上する。（事業費24.6億円）				<table><tr><td>妥当</td><td>見直し</td></tr><tr><td>見送り</td><td>その他</td></tr><tr><td>30年度予算額</td><td>364,765 千円</td></tr></table>	妥当	見直し	見送り	その他	30年度予算額	364,765 千円																								
妥当	見直し																																			
見送り	その他																																			
30年度予算額	364,765 千円																																			